

< 報道関係各位 >

2002年10月

(ボストン発 犬語翻訳機がアメリカで反響)

～「驚きとユーモアで誰も真似することのできない、誰も真似すべきではない」～

科学的な成果に贈られる名誉ある賞

速報 「パウリングル」が「イグノーベル賞(The Ig - Nobel Prize)平和賞」を受賞

“ジョーク”と“ユーモア”の遊び心「なんちゃって Nanchatte(it's a joke)マインド」が評価され、絶賛！

株式会社タカラ

この度、株式会社タカラ(代表取締役社長:佐藤慶太/所在地:東京)は2002年9月27日(金)より犬の鳴き声を声紋分析する犬語翻訳機「パウリングル(Bowlingual)」(注1)(希望小売価格:14,800円/税別)を発売開始致しました。この商品が、米国(ボストン)ハーバード大学系の出版社が発刊している、サイエンス・ユーモア・マガジン「The Annals of Improbable Research(ありえない科学年報)」が主催する「イグノーベル賞(The Ig - Nobel Prize)」(注2)の「平和賞(The field of Peace)」にノミネートされ、米国ハーバード大学構内の「Sanders Theatre」にて行われた授賞式(米国現地時間2002年10月3日20時<日本時間10月4日午前9時>)にて受賞いたしました。

今回の「イグノーベル賞・平和賞」の受賞対象者は、「パウリングル」の開発に携わった株式会社タカラ代表取締役社長・佐藤慶太、日本音響研究所・所長鈴木松美、小暮動物病院・小暮規夫獣医博士の3名です。

この「イグノーベル賞」は、ノーベル賞のパロディ版といわれ、ユーモアと軽いノリを狙ったものとして今年で12回目を数える世界的な賞です。今回受賞した「平和賞」は、“人間と他の生物が平和に共存していくために貢献した”というコンセプトのものに与えられる賞です。

今回の授賞式には、日本音響研究所・所長の鈴木松美氏をはじめ、弊社からは専務取締役・綿引民雄と、ライフカルチャー事業部・次長・梶田政彦が出席いたしました。受賞理由として、人と犬の共存のために貢献し、世界に通じるエンターテインメント商品を世に送り出したことが評価され、壇上の受賞者のほか、「パウリングル」のデモンストレーションでは実際の犬も登場し、会場から割れんばかりの祝福の拍手を受けました。

「パウリングル」は、商品発売前から日本国内だけでなく、世界中のマスコミから問い合わせがあるなど反響が多く、人間と動物の声紋を使ったコミュニケーションのあり方が注目されていました。これまで人間と

犬とのコミュニケーションを図る共通語はなかったけれども、「犬と一緒に会話したい」「犬の気持ちがしりたい」という気持ちは万国共通のものと思われまふ。そんな楽しい夢が日本を飛び出し、ユニークで豊かな発想力のある商品開発としてアメリカで話題となり評価されたことは、“遊び心を大切にするタカラ”としても、大変意義のあることとして、今回の思いがけない受賞を喜んでおります。

「パウリングル」は、「動物と会話ができたら・・・」というおもちゃメーカーの社長の夢から始まった企画です。開発には、様々な異業種のパートナー（株式会社インデックス・日本音響研究所・小暮規夫獣医博士）の協力により商品化されました。商品コンセプトの特性には、「犬の声紋分析」「しぐさや行動」という視点で、「研究・科学する心」と、「動物と楽しく会話する」という新しいコミュニケーションを演出する「ユーモア」「遊び心」という2つの精神がエッセンスとして込められています。また、生活のパートナーでもある犬との新しい形のコミュニケーションツールとして、一般の愛犬家向けエンタテインメント商品として約200通りの「面白い犬語」にまとめたことは、まさに今回受賞した「イグノーベル賞」に相応しい商品だと考えています。

タカラは、企業名に英語で「Treasure（宝もの）」という意味を持ち、「世界中の人々にインパクトのあるワクワクするような夢」を多くの人に提供する企業を目指しています。また生活の中の遊び心を大人向けのバラエティ雑貨を商品化した「なんちゃってシリーズ」（実用性20%遊び心80%のユーモア溢れる生活遊具）^{注3}は、玩具メーカーのエンターテインメント向け市場の新しい一歩として、そのユニークな発想とネーミングが楽しく・ユーモアを表現する新たな「遊び心のブランド」となりヒット商品となりました。

今回多くのエントリーの中から、豊かな想像力とユニークな会社として、世界中でもっとも独創的で人類に対して偉大な貢献を行った研究に対し付与される「イグノーベル賞」を受賞できたことに心から感謝いたします。また、一緒にご協力いただいたパートナーの皆様へ感謝するとともに、この受賞を喜んで頂けるよう日本の多くの方へご報告し、「パウリングル」の楽しさを、地球上で一緒に暮らす「人と犬のため」に広めていきたいと考えています。

注1）「パウリングル」

本体とマイクからなり、犬の鳴き声をリアルタイムに6つの感情（自己表現、楽しい、悲しい、要求、威嚇、フラストレーション）で声紋分析する「ボイス翻訳機能」を中心とした、新しい犬とのコミュニケーションツール。犬の鳴き声を、犬の首輪に装着できる小型ワイヤレスマイクから本体に飛ばし（音声転送）、リアルタイムに鳴き声を分析して画面に表示することのできる「ボイス翻訳」など、犬の飼い主とのコミュニケーションをより楽しくすることができる携帯ツールです。

注2）イグノーベル賞（The Ig - Nobel Prize）*ノーベル賞のパロディ版といった意味

「誰も真似することのできない、誰の真似すべきではない」、ユニークな研究を世界中からピックアップし、本年は以下の10部門（生物学賞・物理学賞・学際的研究賞・平和賞・化学賞・数学賞・文学賞・衛生賞・経済賞・薬学賞）の研究に対し、“本物”の“ノーベル賞”さながらの名誉を称えるのが「イグノーベル賞」です。

今年で12回目を迎える、この賞の主催は、ハーバード大学の研究年鑑「The Annuals of Improbable Research/the MAD Magazine of science」、ハーバード・ラドクリフSF協会(Harvard - Radcliffe Science Fiction Association)と、ハーバードコンピュータ協会(Harvard Computer Society)の協賛で、本物のノーベル賞受賞者を含めた、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学(MIT)の教授達によって毎年5000件を超える書類の中から選考され、一年に一度、秋に授賞式を開催します。授賞式にはハーバード大学やMITの教授や学生たち、また歴代のノーベル賞受賞者たちも顔を揃えます。今回、授賞式が行われた、ハーバード大学でも最も古い歴史を誇る「サンダース・シアター」は1000人以上の観客で埋め尽くされました。式典には受賞者達も招待されますが、ただし、自分達の費用でやってくるのが決まりです。受賞者達に贈られるのは、ユーモラスな手作りのトロフィーと、観客たちの暖かい笑い声だけです。しかし、この榮譽を受賞するために、世界中から受賞者が式典に参加しています。

(注3)なんちゃってシリーズ

逆転の発想で誕生した実用性20%遊び心80%の生活バラエティ商品「ビールサーバー」

「携帯の外付け受話器」ライオンの口からお風呂のお湯がでる「ゴージャス風呂」など、“2001年度ヒット商品番付”に登場する生活遊具シリーズとして、タカラの新しい顔を作りました。

この件に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社タカラ 広報室

〒125-8503 東京都葛飾区青戸 4-19-16

TEL03-5680-2041 FAX03-5680-8627